

令和 7 年第 4 回北海道議会定例会 予算特別委員会〔総括質疑〕 開催状況
(総務部危機対策局原子力安全対策課、経済部資源エネルギー局資源エネルギー課)

開催年月日 令和 7 年 12 月 10 日 (水)

質 問 者 日本共産党 丸山 はるみ 委員

答 弁 者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
一 原発・エネルギー政策等について (二) 泊原発の再稼働の判断について 1 道内 6 圏域への説明会について (丸山委員) 泊原発再稼働についてです。知事が、原発の活用が現実的選択肢として同意をした根拠が、分科会審議で次々と崩れています。 まず、道内 6 圏域への説明会についてですが、地域理解についてです。全ての説明会における議事録は、いつどのよう、道のホームページに掲載したのかお答えください。 1－再 道内 6 圏域への説明会について (丸山委員) 全ての議事録の掲載、本日ということでした。本日の何時にアップしてますか。 1－再々 道内 6 圏域への説明会について (丸山委員) 本日、夜中の 1 時に掲載されたということで、私、分科会でも言いましたけれど、職員の健康害してまで、最終的な判断を急ぐ必要ないということをこれ繰り返しておきたいと思います。健康に留意してください。 そして、周知し理解を得るには十分な時間が保たれていたのか、保障されていたのかという問題です。本日の掲載では到底足りないと考えますけれど、いかがですか。	(知事) 説明会の開催結果などについてであります。道ではこれまで、道が主催した住民説明会等の開催結果や資料などの情報について、ホームページに順次掲載しており、一部の会場のご説明については、インターネットの動画サイトでのライブ配信やアーカイブ配信を行い、広く道民の皆様にご覧いただくことができるよう、対応するとともに、ご意見投稿フォームを設け、サイト内の資料等をご覧いただいた皆様からのご意見を受け付けているところでございます。 また、説明会ごとの質疑応答の結果については、開催後、早期にホームページで公表できるよう努めてきたところであり、全ての説明会について、まず、今月 5 日までに、質疑の要旨、また詳細の議事録を掲載し、本日までに全ての議事録の掲載を終えたところでございます。 (知事) 質疑応答結果についてであります。説明会ごとの質疑応答結果については、開催後早期にホームページで公表できるよう努めてきたところであり、すべての説明会について、まず今月 5 日までに、質疑の要旨または詳細の議事録を掲載し、本日午前 1 時頃にすべての議事録の掲載を終えたところでございます。 (知事) 道民の皆様のご意見などについてであります。後志管内 7 ヶ所や、道内 6 圏域で説明会を行い、賛否にとどまらない多様なご意見やご質問をいただいております。その概要については、担当部局から報告を受けております。 私としては、こうした説明会など様々な機会を通じて寄せられました。道民の皆様の声などをしっかり受けとめ、同意の判断にあたっての参考とさせていただいたところでございます。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
2 公募意見への対応について (丸山委員) 次に、ご意見投稿フォームです。 受けた意見を今後参考とするというだけで、意見に対する回答を行わないのはなぜですか。	(知事) ホームページから寄せられたご意見についてであります が、道ではこれまで、立地自治体である泊村を初め、後志管内で住民説明会を開催したほか、泊発電所3号機の再稼働に関する道民の皆様の関心が高いことから、道内6圏域においても、説明会を開催し参加された道民の皆様から、賛否だけにとどまらない、多様なご意見やご質問が寄せられたほか、質疑応答を含む説明会等の開催結果を道のホームページに掲載するとともに、ご意見投稿フォームを用意し、引き続き、道民の皆様からご意見を受け付けているところでございます。 道では、こうした様々な機会を通じて寄せられた道民の皆様の声などをしっかり受け止め、判断にあたっての参考とさせていただきます。 なお、ご意見等フォームでは、いただいたご意見は、今後のエネルギー政策や原子力防災対策等の業務の参考とさせていただきます旨も申し添えているところでございます。
2－再 公募意見への対応について (丸山委員) ここまで、道民の声を知事の同意判断の参考にしたと答弁を繰り返していますが、どの会議で審議をしているのでしょうか、そしてその記録残っているのでしょうか。	(知事) 道民の皆様の声などについてであります が、これまでの説明会やいただいたご意見などにつきましては、この報告、事項というか、そういったものがありまして、知事への報告というものがございまして、それで報告をいただいております。今回の判断の参考にさせていただきます。
2－再々 公募意見への対応について (丸山委員) 判断の参考にした、その判断を決定した会議は、どの会議なのか、どの会議で審議したのか、その記録はあるのか、お答えいただきたいと思います。	(知事) 再稼働の判断についてであります が、私としては道民の皆様からいただいた声、関係自治体のご判断やご意見、そしてこの間の道議会での様々なご議論を踏まえ、熟慮を重ね、その中で、泊発電所3号機が福島第一原発事故の教訓を踏まえた新規制基準に適合していると認められたこと。 国が道と、UPZ内13町村の防災計画や避難計画を一体化した、泊地域の緊急時対応を取りまとめ、原子力防災会議で了承していること。 再稼働により、道民の皆様のご生活や道内経済に大きな影響を与えている中、電気料金の引き下げが見込まれるとともに、電力需要の増加が想定される中で、安定した電力供給が確実なものとなること、脱炭素電源の確保により、今後の道内経済の成長や温室効果ガスの削減につながることで、経済団体からは、改めて再稼働、早期再稼働の要望をいただいたこと、さらには、この時点で、再稼働の方向性を示すことにより、企業が投資判断を行う際の予見性を高め、道内での投資促進や雇用の拡大にも繋がることなどから、このたび、私として、泊発電所3号機の再稼働に同意することを判断したものでございます。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
【指摘】 （丸山委員） 様々な道民の意見を参考にして、最終判断をしたと。その最終判断の決定の過程を明らかにする必要があると指摘しておきます。 3 16 市町村への意見照会について （丸山委員） 11 月 10 日に 16 市町村へ総合的判断のためと意見照会を行っています。25 日が締め切りでした。 ところが 28 日に突然知事が今定例会で最終的に判断すると示しました。 この意見照会はいくまでも、その前提は、総合的判断のための意見照会だったはずで、最終的判断の根拠にしてはならないと考えますがいかがですか。 3－再 16 市町村への意見照会について （丸山委員） 総合的判断と前提をして意見を求めたにもかかわらず、同意の最終的な判断の参考にしたということは、これ 16 市町村を欺くような態度ではないかと思うんですけど、いかがですか。 3－再々 16 市町村への意見照会について （丸山委員） 最終的な同意判断を表明するにあたってですね、16 市町村に対して、説明しているのでしょうか。了解はいただいているのでしょうか。最終的な判断をするんだということについての了解。	（知事） 後志管内 16 市町村への意見照会についてであります、道が、道とともに北海道電力と泊発電所周辺の安全確認等に関する協定を締結している後志管内の 16 市町村に対し、11 月 10 日付けで発出した文書では、泊発電所 3 号機の再稼働について、道議会や関係自治体、道民の皆様の声などを踏まえ、総合的に判断することとしておりますと、記載し、再稼働について判断していくためのものとお伝えした上で、ご意見やご要望等をお伺いしたものであり、いただいたご意見やご要望などについては、それぞれの自治体のお考えや実情などを踏まえた、貴重な声として受け止め、同意の判断にあたっての参考とさせていただいたところでございます。 （知事） 後志管内 16 市町村への意見照会についてであります、道が、後志管内の 16 市町村に対し、発出した文書では、泊発電所 3 号機の再稼働について、道議会や関係自治体、道民の皆様の声などを踏まえ、総合的に判断することとしておりますと記載し、再稼働について、判断していくためのものとお伝えした上で、ご意見やご要望等をお伺いしたものであり、いただいたご意見やご要望などについては、それぞれの自治体のお考えや実情などを踏まえた貴重な声として受けとめ、同意の判断にあたっての参考とさせていただいたところでございます。 （知事） 後志管内 16 市町村への意見照会についてであります、道が、後志管内 16 市町村に対し発出した文書では、泊発電所 3 号機の再稼働について、道議会や関係自治体、道民の皆様の声などを踏まえ、総合的に判断することとしておりますと記載をし、再稼働について判断していくためのものとお伝えした上で、ご意見やご要望等をお伺いしたものでございます。 いただいたご意見やご要望などについては、それぞれの自治体のお考えや実情などを踏まえた、貴重な声として受け止め、同意の判断にあたっての参考とさせていただきました。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
3ー再々々 16 市町村への意見照会について (丸山委員) 市町村の声を参考にすると、総合的に判断すると、しかしその時期は、道に一任しろと、知事に一任しろということなんでしょうか。	(知事) 後志管内 16 市町村への意見照会についてであります、それぞれの自治体のお考え、実情などを踏まえた貴重な声と受け止めて、私が同意の判断にあたっての参考としたということです。
4 黒松内町などからの意見照会について (丸山委員) 例えば、黒松内町からは、被ばくスクリーニングについては混乱が予想されると、そして、ニセコ町からは、国内外の観光客たくさん来ると、常に即座に理解をして行動できる取り組みが急務だというふうにお答えはいただいていた。 これらに関して、対策や検討もせずに回答もしないまま、最終的判断としたことは問題じゃないんでしょうか。	(知事) 黒松内町などからのご意見等についてであります、道では原子力災害時における避難を円滑に行うため、UPZ 内の人口や、避難経路等を考慮し、道の駅、黒松内など、あらかじめ、29 ヶ所の避難待機時、検査場所、検査場所の候補地を、設定した他、検査速度の向上を図るため、資機材や要員の確保など、体制整備に努めてきたところでございます。 また観光客の方々については、自家用車など自力で移動が可能な場合には、早期にUPZ 外に避難させ、移動手段がない場合には、指定避難所や宿泊施設などで屋内退避を行い、その後、バスなどにより移送することとしています。 後志管内は外国人観光客が多いことから、ホテルなどの観光事業者の方々に対し、外国人観光客にも対応できる原子力災害時、初動対応マニュアルを配布するとともに、地域学習会を開催してきたほか、外国人観光客を想定した避難誘導訓練などにも取り組んできたところでございます。 私としてはUPZ を含む、泊発電所周辺の自治体からいただいたご意見をしっかり受けとめ、今後の防災対策に活かしていくとともに、再稼働の判断にあたっての参考とさせていただきますところであり、今後も国に必要な申し入れを行ってまいります。
5 積丹町議会の意見について (丸山委員) 今の答弁、体制整備をしていると、マニュアル配布もしていると、しかし、まだその理解が不十分じゃないかと、不安が残るというのは市町村の、意見照会への答えだったはずです。 積丹町議会は、平成 11 年 9 月に泊原発 3 号機増設に反対する意見書を議決しておりまして、偶然にも一昨日 23 時過ぎに沖縄県沖でマグニチュード 7.5 の巨大地震が起きました。 自然災害の予想はほぼ不可能です。積丹町は能登半島地震災害の教訓を踏まえて、国と道の横断的、総合的な防災対策を現在も要望しています。 防災対策が十分ではないからこそ、要望が出ており、これ未解決のままなんですよそのまま。最終判断ということでもいいのか。	(知事) 積丹町からのご意見等についてであります、日本海沿岸の、地震津波被害の軽減にあたっては、市町村における、津波避難施設等の整備の推進や、住民の皆様の避難意識の、向上など、ハードソフト両面での対策が不可欠であることから、必要な対策が進められるよう、市町村が抱える課題の把握に努め、地震や津波から道民の皆様の命と暮らしを守るため、国や市町村関係機関と連携し、総合的な防災減災対策に全力で取り組んでまいります。 私としては、UPZ を含む泊発電所周辺の自治体からいただいたご意見をしっかり受けとめ、今後の防災対策に活かしていくとともに、再稼働の判断にあたっての参考とさせていただきますところであり、今後も国に必要な申し入れを行ってまいります。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
5－再 積丹町町議会の意見について （丸山委員） 16 市町村の意見照会にはほとんど何も回答してないわけです。余りにも住民理解を軽視する姿勢ではないかと。 先ほど知事は、4 日に行った視察の内容について道民に、広く知っていただきたいと考え、SNS等を通じ情報発信にも努めていると答えていましたが、視察の際、報道陣の質問回数を1 回に制限した。 泊村役場では、記者が呼びかけたにもかかわらず、質問を打ち切ったと聞いていますけれど、事実ですか。知事取材の打ち切りなど北海道では聞いたことないと私聞いたんですよ。結局、知事は道民に説明し、丁寧に説明する意思があるのか、この対応は間違っていなかったと考えていますか、お答えください。 【指摘】 （丸山委員） もろもろ事情があったのかもしれませんが、しかし、記者の方々、納得していないということだと思うんですよ。その辺りは誤解がないような対応が必要だったのかというふうに思います。 6 余市町の意見について 欠 7 札幌市からの意見照会について （丸山委員） 札幌市からの意見照会です。再稼働について論点整理し考え方を整理したいという札幌市の考えを確認する、情報共有する、意見交換を行うと答弁がありました。最終判断をする前に確認できたのでしょうか。 7－再 札幌市からの意見照会について （丸山委員） 今の答弁だと、最終判断する前に確認していないようなのですが、知事、毎年、知事交際費を支出して参加しているマンデークラブ、札幌市長とも懇親を深めていると、コミュニケーションをとっているというふうに承知していますが、そうした間柄ですから、すぐに確認できないのかと思うんですけどいかがですか。 （丸山委員） こういうときのために懇親深めてるんじゃないかと思うんですけど。	（知事） 泊発電所など視察に関する報道対応についてでありますけれども、泊発電所の視察については、中には報道の方は入れないわけですが、冒頭の挨拶と一連の視察が終わった後に、ぶら下がりの取材をお受けしております。 その後、地元4 町村長との、この面談の場がセットされましたので、次の会場にもすでに遅れてましたので、そこでお答えできる、ぶら下がり対応はさせていただきました。 4 町村長との意見交換というか会談については、フルオープンでやらせていただいておりますので、それ報道の方、皆さん、フルオープンで情報はご覧になられてますけれども、当初、ぶら下がりなどは予定されておりましたが、多くの方、集まってらっしゃったので、私の方からぶら下がりには、その場で対応させていただいて、ただ時間も限られてましたので、そういう形で対応したということです。 （知事） 泊発電所に関する札幌市との連携についてであります。が、札幌市長が、泊発電所3 号機の再稼働に関し、記者会見において、市としても、論点を整理し、一定の考え方を整理したいとの考えを示されたと承知しています。 道では様々なレベルでコミュニケーションを図っており、引き続き情報共有や意見交換を行ってまいります。 （知事） 泊発電所の札幌市との連携についてでありますけれども、道では様々なレベルでコミュニケーションを図っております。引き続き、情報共有や意見交換を行って参ります。 なお、私としては、再稼働の判断について、道民の皆様、経済団体、市民団体の方々からいただいた声、関係自治体のご判断やご意見、そしてこれまでの道議会での様々なご議論を踏まえ、熟慮を重ねた上で、泊発電所3 号機の再稼働に同意することとしたところでございます。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
8 電力需要の見通しについて 欠 9 電気料金引き下げの根拠について (丸山委員) 次に、道民が関心を寄せている電気料金の引き下げです。長く続く物価高騰の中で、大きく期待がされています。しかし、実際の値下げ幅は条件によって変動します。道民が十分な理解を得るために、北電は説明を尽くしていると考えてますか。 10 ウラン燃料の購入について (丸山委員) 再稼働後にいずれ購入することになるウラン燃料の費用、算定の根拠に含まれているか不明です。 新港建設、専用道路については費用を算定できていません。 長期分割により値下げの影響は軽減されるといいますが、結果的には値上げの方向に動きます。 料金引き下げられるという説明は正しくなく、再稼働に誘導する方便ではないかと思いますが、認識を伺います。	(知事) 北電の電気料金の値下げについてであります。北電では電気料金の値下げに関し、道が主催した、道内6圏域における説明会において説明し、参加された道民の皆様からのご質問に、全て回答したほか、道内の自治体や経済団体、消費者団体の方々など、約1800件を直接訪問し説明するなど、理解活動に取り組んでいるものと承知しています。 道としては、電気料金値下げに関する道民の皆様のご理解を促進するためには、事業者である北電が丁寧に説明等を行う必要があると考えており、私からは値下げの内容や考え方について、北電が道民の皆様に対し、様々な機会を通じてわかりやすく丁寧な説明を行っていただきたいことについて、齋藤社長に直接お伝えし、社長からしっかり対応していくとの回答があったところでございます。 (知事) 電気料金の算定についてであります。北電によれば泊発電所3号機の再稼働にあたっては、すでに購入済みのウラン燃料を原子炉に挿管する予定であり、この度、示した電気料金の値下げ見通しで考慮される核燃料費については、電気を安定的に供給するために必要となる原価を、算定する期間内において、実際に燃焼させるウラン燃料の量に相当する金額のみが織り込まれているとのことあります。 また、新港建設や専用道路の新設については、事業規模など詳細を検討中であり、費用を算定できていないが、安全対策に係る建設工事費については、長期間にわたり分割されるため、電気料金の値下げへの影響は軽減されるとしているところでございます。 いずれにいたしましても、電気料金についてはエネルギー価格が高騰している中で、道民の皆様のご関心も高く、値下げの考え方については、北電が道民の皆様に対し、丁寧に説明していくことが重要であると考えています。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
10－再 ウラン燃料の購入について （丸山委員） いずれ購入しなければならない、再稼働すればですよ。ウラン燃料の費用については、値下げの算定に入っていないわけです。都合の悪いデータを出さないという姿勢なんでしょうか。 知事の読み間違いから始まったこの最終的な判断ということですけど、知事が再稼働の要件とする根拠がことごとく崩れています。再稼働同意を示したことは北海道の未来を、読み間違えた判断だと言わざるをえず、到底承認できるものではありません。同意の判断を撤回すべきだと主張します。 知事は同意の判断、変えないんでしょうか。見解を伺います。	（知事） 泊発電所に関する判断であります。私といたしましては、道民の皆様、経済団体、市民団体の方々にいただいた声、関係自治体のご判断やご意見、そしてこれまでの道議会での様々なご議論を踏まえ、熟慮を重ねた上で、泊発電所3号機の再稼働に同意するとしたところであります。